

ふじしろ政夫と共に市政を変える会ニュース

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50
Eメール masao.fujishiro@zc.wakwak.com

2008年12月号
TEL & FAX 047-445-9144
ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

「住環境を守る高度地区制度の早期制定を求める」シンポジウム開かれる！



藤原1丁目

船橋市内では一戸建て(二階建)の住宅が多く建っている地区に、突然10階～

14階のマンション計画が持ち上がり、建築工事へと突き進んでいる状況があります。マンション建設紛争解決の一つとして船橋市が今進めている高度地区の絶対高度制限が期待されています。「住環境を守る高度地区制度の早期制定を求めるシンポジウム」が開催され、100名以上の住民が集まり熱い思いが語られました。

船橋市は20m、31mの絶対高度設定へ向けて住民説明会が終り、素案をつくる段階に入っているとの事。しかし「既存不適格建築」について“地区計画との関係”について検討する課題があり、また業者からの反対の声などにどう対応するかで制定が遅れているようです。

住民からは、マンション建設で住環境が破壊され不安と怒りで“反対”の声が上がっています。

『景観と住環境を考える全国ネットワーク』代表の日置弁護士からは、現状と解決の方向性が次のように語られました。

「建築基準法や都市計画法をクリアした形で、即ち合法の外見をもって住環境を侵害していく形でマンション計画が出てくる」と日本の都市政策の欠陥としてのマンション紛争の現状を分析しました。又、「低層10m制限の家の隣は高さ無制限の都市計画法」「アメリカでは建物の形態規制もある。しかし日本では高さも形態も制限が無い形で街づくりがおこなわれて

いる」と問題点を鋭く指摘しました。そして「これを解決するには、まず高度地区の絶対高さ制限の導入がその一歩である」と規制の必要性を語りました。

実際マンション紛争で困っている習志野台の協議会の住民からは、地区計画で15mを越えない建築協定をつくろうとしていた時に、突然9階のマンション計画が出てきてつくられてしまった苦い経験が語られました。「住環境を守る規制こそ資産価値を高めるはずなのに…」という言葉こそ真理だと思われました。

藤原1丁目の住民は「座り込みで反対運動を展開している」と発言しました。業者からは1000万円の損害賠償を地裁に訴えられるような圧力も加えられているとのこと。紛争解決の為の一つの方策となる絶対高度制限は全国の色々な街で、すでに取り入れられ始めて

います。小田原市・中央区・新宿区・江戸川区・練馬区・三鷹市・町田市・文京区・葛飾区などなど…。船橋市で一日も早く制定され住環境を守る街づくりをすすめてほしいものです。

鎌ヶ谷市においても平成15年以降マンション紛争が多発し始めました。絶対高度制限を導入すべきだと思われま



《ヒロシマ・ナガサキ議定書》に賛同署名す

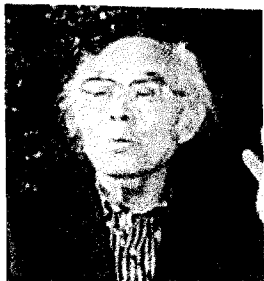
清水聖士市長は、2020年世界中の核兵器の全廃をめざす“ヒロシマ・ナガサキ議定書”に賛同する都市アピールに署名しました。



孤独死対策から「地域力」考える

「あいさつ」から孤独死の作戦へ

常盤平団地自治会長 中沢卓実さんの話を聞く機会がありました。常盤平では3年間放置されていた孤独死から“孤独死0作戦”が開始されたとの事です。松戸市の孤独死は毎年90人から100人の間で推移しているとのこと。男性が70%で50~60代の方が30%という状況だそうです。



中沢さんは「社会的背景として①高齢化②都市化③核家族化④リストラ・失業が一人暮らしの状況をつくり出し、これが孤独死の予備軍です」どこの街でも孤独死対策の必要性があると指摘しました。常盤平団地では、対策として①孤独死110番で早期発見早期対応②毎年シンポジウムを開催し啓発③新聞配達員との連携④安心登録カード⑤孤独死予防センターの設置⑥データの作成⑦いきいきサロンを商店街の一室につくっていつでも語れる場を、等がとられているとのこと。最後に、ネットワークや見守り・安否確認・コミュニティなどをつくりあげるうえで必要な事は“新たな向こう三軒両隣”の関係性をどう地域の中につくるかだと語りました。そのためにも“あいさつが何より重要”と指摘しました。

航空機騒音防止及び安全確保を要望

～ 柏・白井・鎌ヶ谷・三市で下総基地へ ～

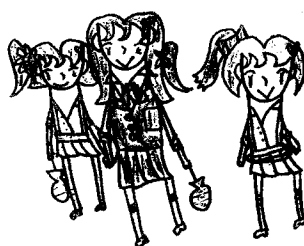
千葉県で毎年行なっている騒音実態調査の結果が出ました。下総飛行場周辺の調査地点、飛行場南側6地点、北側6地点のうち2地点(鎌ヶ谷市民体育館・風早南部小)が70 WECPNL の環境基準を超えていることが判明。清水鎌ヶ谷市長は騒音については環境基準を早期に達成するよう、また墮落事故等の防止の為さらなる安全確保を徹底するようにと、海上自衛隊下総教育航空群指令に要望書を三市長名で提出しました。(08, 11/11)



障がいのある子の学校生活支援を考える

「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」に係る施策提案型事業として、NPO 法人ちば MD エコネットと千葉県が発達障害の生徒への支援方法についてのフォーラムを開きました。LD 発達相談センターかながわ所長 安住ゆう子さんのお話がありました。

安住さんは「特別支援教育とは、教育の場を限定せず通常の学級でも特別な教育を行なうことであり」「通常学級での学級全体と対象児に向けての支援」と規定し、発達障がい児への教育は「互いが理解しあう教育であり、学校全体の児童・生徒への支援として有効」な教育であるとインクルーシブな方向性を示しました。



ちばMDエコネット

そして①わかり易い教室づくり②ルールの明確化③スタディスキル④ソーシャルスキル⑤気持の

コントロールなど障がいへの支援の具体的方法・ノウハウが語られました。“障がい者への差別”のない社会をつかっていきたいものです。

12月議会予定

開会 12/4 ~ 閉会 12/19
代表質疑 12/9 常任委員会 12/10, 12/11
一般質問 12/12, 15, 16, 17

*主な議案

議案2号：敬老祝金の支給対象・支給金額の縮小へ条例改正

議案4号：新鎌ヶ谷駅自由道路‘広告板’の使用料値下げの件

議案5号：補正予算

ふじしろ政夫の一般質問(予定)

- (一) 無保険者(資格証)への対応は?
- (二) 行政評価の実施状況(児童遊園等)
- (三) 高齢者支援体制をどう実現するのか



：緊急通報システム・孤独死対策

- ▼ キャンドルナイト 12/19 6:30~
中央公民館 500円栗野の森のお話・ジャズ
- ▼ 水俣・千葉展 12/10~12/28 10:00~20:00
千葉県労働者福祉センター 入場券あり